

	11月30日までの旧表示	12月1日からの新表示 ● 新しく追加された表示
洗濯		
漂白		
乾燥		
アイロン		
クリーニング		
なくなった表示		「弱く絞る」などの付記用語で表示されます

消費者庁HP「新しい洗濯表示」(http://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/laundry_symbols.html)より参照

組合員さんに聞きました

衣類の洗濯表示が変わったことを知っていますか？



新しい洗濯表示はどうですか？

- 41種類！？見るのが大変です。クリーニングの表示も増えてさらに細くなりました。(中津川市 伊藤さん)
- すごく難しく、洗濯方法を間違えてしまいたい。クリーニング頼みになりそうです。(多治見市 ままりんさん)
- 新聞に載っていた特集記事を切り取って参考にしています。(恵那市 くわじさん)
- わかりにくいし、種類が多いので覚えられません。慣れるまでは新旧が両方表示されているとうれしいです。(各務原市 なちゅらんさん)

洗濯表示はどうして変わったの？

これまでの洗濯表示は、日本の洗濯習慣や方法に合わせた日本独自の表示で、海外の衣類に使われている表示とは異なるものでした。衣類の生産や流通においてもグローバル化が進み、国際規格に統一することで、海外製衣類の家庭での洗濯や、海外への輸出入時など衣類がより扱いやすくなります。

また、洗濯記号の種類が22種類から41種類に増えることで、衣類の取り扱いに関する細かい情報が表示され、衣類が縮んだり色落ちするなどの洗濯トラブル対策にもつながります。

洗濯表示、どこがどう変わるの？

- 1 基本の記号が変わります 5つの基本記号に「付加記号」や「数字」を組み合わせて表示されます。



- 2 参考情報が簡単な用語で付記されます

記号だけでは伝えられない情報は、簡単な用語で表示されます。例えばアイロンの場合、現行波線で表現されていた情報は、「あて布使用」と付記されます。



- 3 指示表示から上限表示に変わります

旧表示では「この方法で洗濯しましょう」という指示表示でしたが、新しい洗濯表示では「一番厳しい条件」が表示されています。アイロンや洗濯の温度条件については、それより高い温度にしてしまうと繊維をダメにしてしまうこともあるので、特に注意が必要です。

漂白剤の正しい使い分け、知っていますか？

洗濯用の漂白剤は、一般に右の表のような種類があります。なかには使い方を間違えると繊維を傷つけるものもあるので、それぞれの素材に適した漂白剤を使いましょう。



	塩素系漂白剤	酸素系漂白剤(粉末)	酸素系漂白剤(液体)
漂白剤の種類と使える素材○ 使えない素材×	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水洗いできる白物 × 色柄物、毛、絹、ナイロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水洗いできる白物や色柄物 × 毛、絹 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水洗いできる白物や色柄物(毛、絹にも使用可能)
漂白剤の種類と価格	塩素系漂白剤ブリーチ 1,500ml 税抜価格 188円 税込価格 203円	酸素漂白剤 粉末タイプ 500g 税抜価格 220円 税込価格 237円	液体酸素漂白剤 1,000ml 税抜価格 150円 税込価格 162円
漂白の記号との適合	△ ○ ▲ × ☆ ×	○ ○ ○ ○ × ×	○ ○ ○ ○ × ×

巻頭特集

新しい洗濯表示で上手なお洗濯

2016年12月から、国際規格に合わせて衣類の洗濯表示が変わりました。新しい記号も追加され、取り扱いに関する、よりきめ細かな情報が表示されるようになります。大切な衣類を洗濯トラブルから守るため、この機会に新しい洗濯表示を覚えてみませんか。